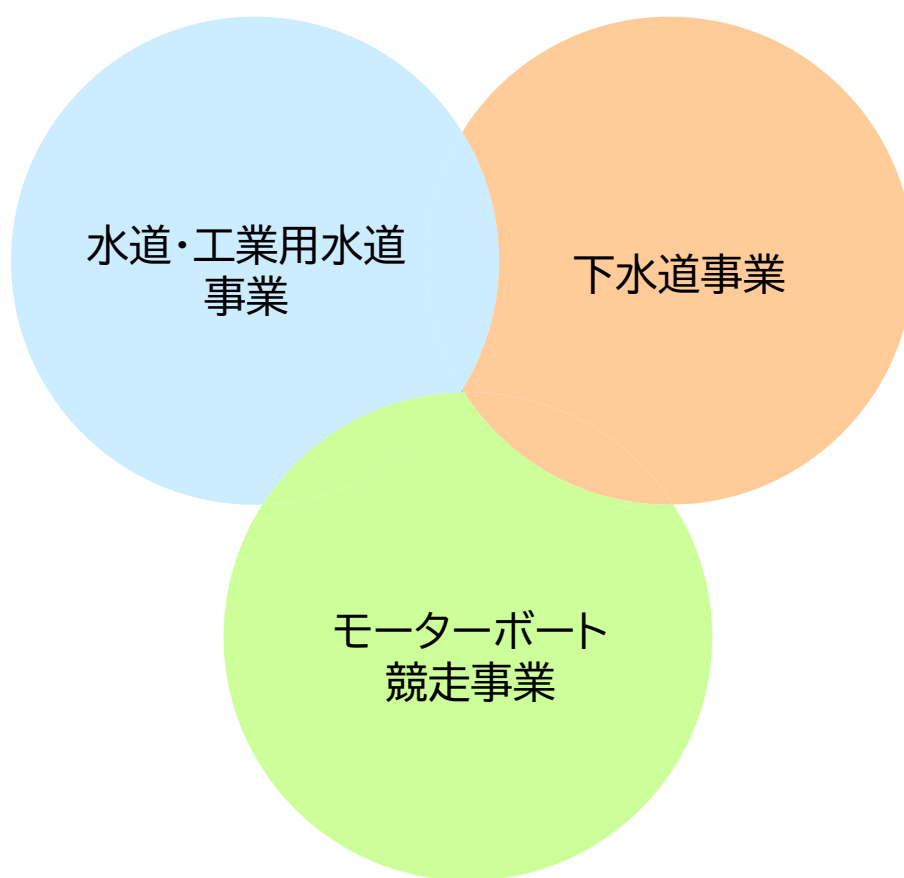


# 令和6年度 公営企業局 主要事業

## <公営企業会計>



令和6年2月  
尼崎市公営企業局

# 水道事業会計 ・ 工業用水道事業会計

## 方針

40年先の将来像を見据えた「あますいビジョン2029」(令和2～11年度)に基づき、将来においても安定的に事業を継続していくための取組を推進  
(前期計画:R2～R6 後期計画:R7～R11)

## 事業規模

水道 121億円

工水 26億円

## 主な評価指標

		R3決算	R4決算	類似団体平均 (R3決算)	直近の推移
<b>経常収支比率 (経営の健全性)</b> ▶ 収益で費用をどの程度賄えているかを表す指標 ▶ 経常収益/経常費用 ▶ 100%以上が良好	水	113.4%	111.6% (△1.8%)	113.9%	
	工	119.4%	113.5% (△5.9%)	113.5%	
<b>有形固定資産減価償却率 (老朽化の状況)</b> ▶ 有形固定資産の老朽化度を測定する指標 ▶ 有形減価償却累計額/償却対象資産の帳簿原価 ▶ インフラの老朽化が社会課題となる中、計画的かつ効率的な施設整備・維持管理等を講じる「アセットマネジメント」の取組が重要	水	54.5%	55.0% (+0.5%)	52.2%	
	工	62.6%	63.2% (+0.6%)	58.1%	
<b>基幹管路の耐震化率 (耐震化の状況)</b> ▶ 基幹管路のうち耐震性のある管路の割合 ▶ 基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長 ▶ 100%に近いほうが良い	水	51.1%	51.8% (+0.7%)	41.2% ※全国平均	
	工	64.5%	64.7% (+0.2%)	46.6% ※全国平均	

## 主要事業



### 安全な水を安定して届ける

1	施設のあり方	>> 将来にわたって安定供給できる施設整備を実施	水	44百万円
			工	208百万円
2	管路の計画的更新と維持管理	>> 配水管の更新工事等の実施	水	1,711百万円
			工	560百万円
3	配水ブロック化	>> ブロック化により、災害時の断水範囲の局所化や迅速な対応等を図る取組	水	47百万円
4	水質管理の徹底	>> 適切な水質管理の実施	水	23百万円



### 災害から守り備える

5	応急給水拠点の整備	>> 災害時に給水を行うための応急給水拠点の整備	水	33百万円
---	-----------	--------------------------	---	-------



### 将来へ事業をつなげる

6	経営の効率化	>> ICT等を活用したお客さまサービス向上と業務効率化	水	7百万円
			工	2百万円
			下	6百万円



目的

人口減少に伴う水需要の減少により、施設能力と水需要との乖離が広がることが見込まれる中、将来の投資や維持管理費用の縮減を図り、水道水の安定した供給の継続を目指す。

主な事業

施設更新等 44百万円

- 神崎浄水場受変電設備更新工事・水質計器更新  
老朽化している受変電設備(特別高圧)の更新工事及び水質計器の更新を実施  
【工期:受変電設備R6~R8・水質計器R6】



- 柴島取水塔連絡橋耐震工事  
取水塔点検歩廊の橋脚の耐震強度の不足により、橋脚の耐震化を実施【工期:R6~R7】



神崎浄水場の施設整備等の検討 - 円



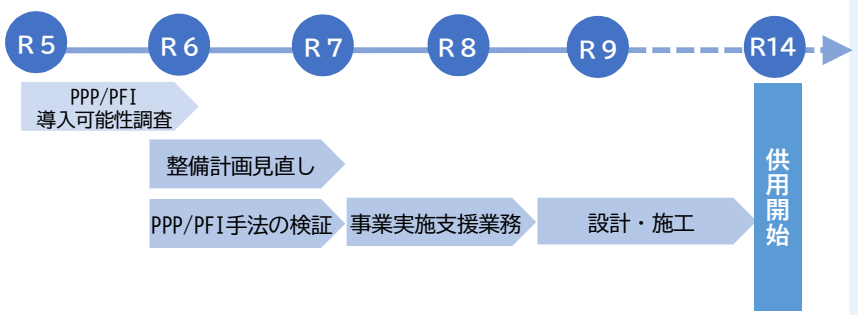
- 1 施設整備計画の見直し
  - 機能ごとの投資の適正化の検討
  - 配水場化時期の延期に伴い、老朽化している機械、電気設備等の更新時期の検討
  - 浄水施設に関する土木構造物の延命化(補修の検討)
- 2 再整備事業におけるPPP/PFI手法の検証
  - 官民連携手法導入可能性調査(R5実施)を踏まえて、事業手法及び事業費の決定

今後の取組

新管理棟・配水ポンプ棟等(浄水機能を約20年間維持)



神崎浄水場 再整備スケジュール



安全な水を安定して届ける



1-2

## 工業用水道事業の施設のあり方

工 208百万円

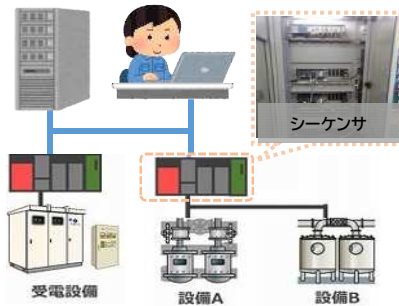
### 目的

ユーザー企業の減少により、将来の施設のあり方について、他の事業者と連携して検討を行うなど、工業用水の安定した供給の継続を目指す。

### 主な事業

#### 施設更新等 208百万円

- **神崎浄水場 園田系シーケンサ改造工事**  
工水設備を中央監視室から監視操作・制御を行う装置(シーケンサ)の改造工事を実施【工期:R5~R6】

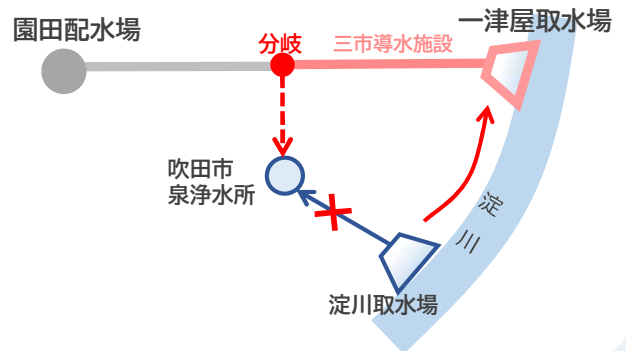


- **江口取水場 ポンプ設備等更新工事**  
導水ポンプ設備等更新工事を実施【工期:R5~R7】
- **園田配水場 特高VCB(真空遮断器)交換**  
特別高圧受電設備に使用している遮断器の交換
- **一津屋取水場 電気設備等設計業務委託**  
ポンプ等を駆動するために必要な電気設備・監視制御設備の更新工事の設計を行う【工期:R7~R8】

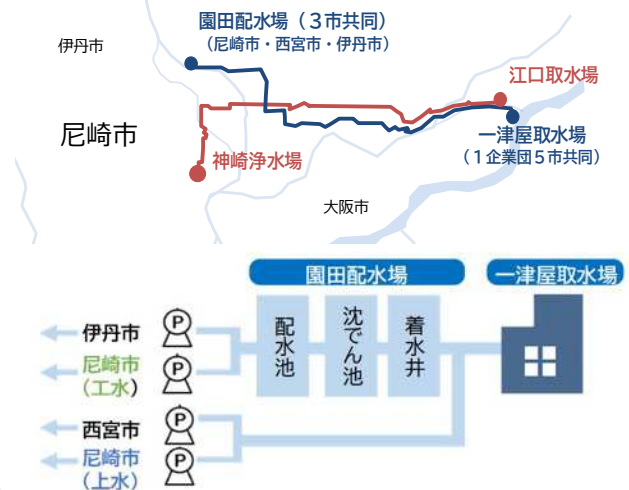


#### 吹田市の三市導水施設の一時利用 本市負担軽減額 ▲10百万円

令和6年度から三市(尼崎市・西宮市・伊丹市)導水施設(一津屋取水場・導水管)を吹田市と一時的(~令和14年度末)に共同利用を開始



#### 園田配水場施設整備方針の検討 ー円



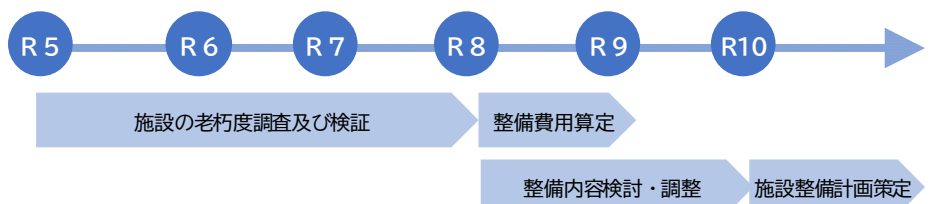
### 今後の取組



#### 三市協議

- ✓ 設備機器等の更新時期
- ✓ 耐震補強の実施
- ✓ 阪水との連絡管整備

#### 園田配水場 整備検討スケジュール



安全な水を安定して届ける



2

## 管路の計画的更新と維持管理 水 1,711百万円 工 560百万円

### 目的

「重要度・老朽度・耐震性」の3つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を実施するのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取組を推進する。

### 主な事業

#### 配水管の更新工事

水 1,670百万円 工 522百万円

#### 維持管理点検・工事・計画

水 36百万円 工 38百万円



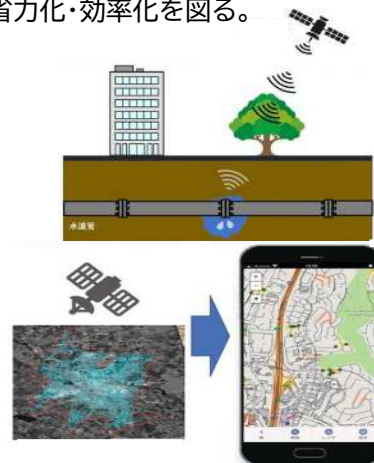
事後保全から予防保全へ



- 維持管理点検（管路施設の診断・評価）
- 維持管理工事（修繕が必要な管路施設の工事）
- 延命化策定支援（漏水事故防止や延命化を図る）

#### 人工衛星漏水調査 水 5百万円

人工衛星の画像解析技術を用いて、漏水の可能性区域を特定して調査区域を絞り込み、漏水調査の省力化・効率化を図る。



### ビジョン進捗・目標

#### 配水管の更新延長(累計)

	R2末	R3末	R4末	R5末 (見込)	R6末 (予定)	
水	計画	12.7km	24.2km	35.8km	46.9km	58.5km
	実績・予定 (繰越の執行を含む)	9.2km	13.0km	27.1km	43.4km	58.8km
工	計画	0.6km	1.4km	1.7km	2.2km	2.6km
	実績・予定 (繰越の執行を含む)	0.0km	0.5km	1.0km	1.6km	2.8km

R11末(予定)

110km

進捗率  
(R6未見込)

53%

R11末(予定)

6km

進捗率  
(R6未見込)

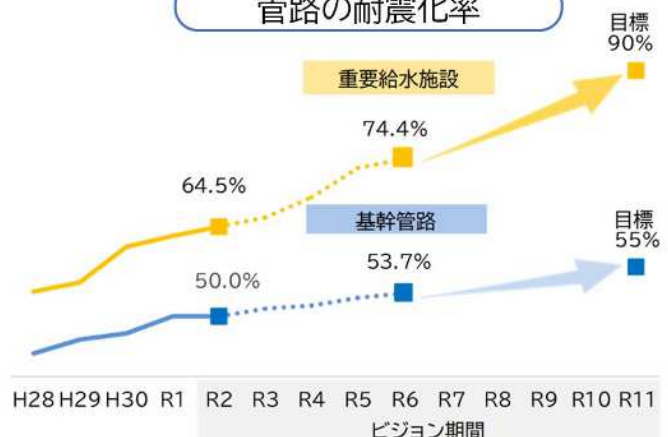
47%

### 今後の取組

#### 主な配水管の更新工事



#### 管路の耐震化率



安全な水を  
安定して届ける



3

### 配水ブロック化

(市内配水エリアの整理)

水 47百万円

#### 目的

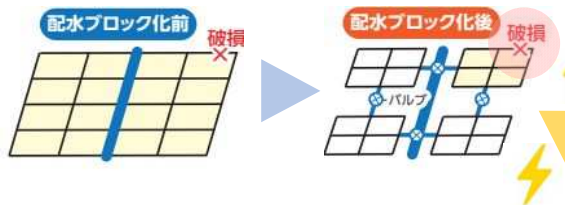
配水ブロック化(市内20ブロック)に取り組み、水の流れを単純化し、平時の漏水の把握や大規模災害時の断水解消への対応の迅速化を図るとともに、課題となる猪名川浄水場の機能集中の改善を目指す。

#### 主な事業

##### ブロック化の取組 - 円

大規模災害時の断水範囲の局所化や迅速に復旧するためにブロック化を実施する。

■R6予定:3ブロック



破損箇所が見つかりにくく断水が長期化し、断水範囲が広い

ブロック化により、早期発見・対応ができ、断水範囲が小さくなる

##### 水圧監視装置の設置等 47百万円

平常時の安定給水を確保し、大規模災害発生時には迅速な復旧ができるよう、各ブロックの水圧を常時把握する。

■R6予定:12基(小中学校等)

水圧監視装置

クラウドサーバー



水圧監視用PC

#### ビジョン進捗・目標

##### ブロック化実施箇所数(累計)

	R2末	R3末	R4末	R5末 (見込)	R6末 (予定)
計画	6	7	10	13	16
実績・予定	6	7	11	13	16

R7末(予定)

20ブロック

進捗率  
(R6未見込)

80%

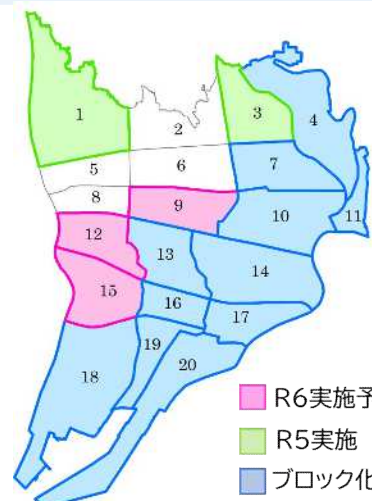
#### 今後の取組

##### ブロック化実施箇所数(累計)



##### 水圧監視装置の設置

令和7年度以降の設置予定場所や設置台数の検討を進める。



■ R6実施予定  
■ R5実施  
■ ブロック化完了

安全な水を安定して届ける



4

## 水質管理の徹底

水 23百万円

### 目的

水道水の安全・安心の維持・向上を確保するため、水安全計画及び水質検査計画の運用を通じ、水源から蛇口に至るリスクの未然防止や適切な対応等を講じ、水質管理の徹底を図る。

### 主な事業

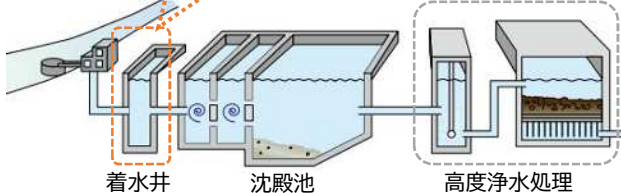
#### 水質分析機器等の購入 23百万円

活性炭供給機、顕微鏡、分光光度計など

活性炭供給機



効率的な活性炭投入プロセス  
水源水質の異常時における  
効果的な対応



着水井

沈殿池

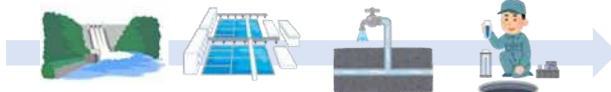
高度浄水処理

神崎浄水場

#### 水安全・水質検査計画の運用 一円

##### 水安全計画

水源から蛇口までのリスクの発生を未然に防ぐための管理基準、対応方法を定め、総合的な水質管理を実施



##### 水質検査計画

適正な水質検査を行うため、水質検査の方法や項目等を定め、毎年、評価・見直しを実施

### ビジョン進捗・目標

#### 水質検査計画に基づく水質検査



水質基準項目

51項目  
適合

法令上の基準項目

水質管理目標  
設定項目

26項目  
適合

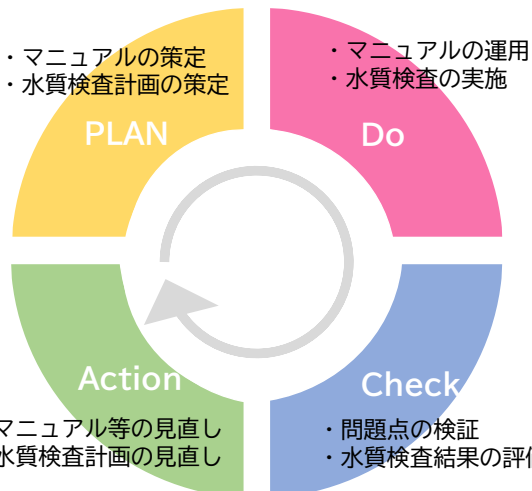
注視すべき管理項目

独自検査項目

16項目  
適合

水質管理上必要な項目

#### 水安全計画・水質検査計画の運用



#### 水道GLP認定の取得



R1.12月  
認定更新

水質検査の精度と信頼性を確保するため、第三者機関(日本水道協会)による客観的な審査を受け、精度の高い水質検査を実施

災害から  
守り備える



5

## 応急給水拠点の整備

水 33百万円

### 目的

災害などによる断水時にも水道水を供給するために、避難所となる市内の小中学校等に「応急給水栓」を整備する。

また、地域住民の皆様が自身で応急給水拠点の開設を行えるよう、整備済みの拠点において定期的な訓練を実施する。

### 主な事業

#### 応急給水拠点の整備 33百万円

- 設置予定校
  - ・立花西小学校
  - ・水堂小学校
  - ・武庫東小学校
  - ・小園小学校
  - ・大成中学校
- その他
  - ・小田南公園



### ビジョン進捗・目標

#### 応急給水拠点数(累計)

	～R2末	R3末	R4末	R5末 (見込)	R6末 (予定)
計画	37	54	60	65	70
実績・予定	25	52	59	66	72

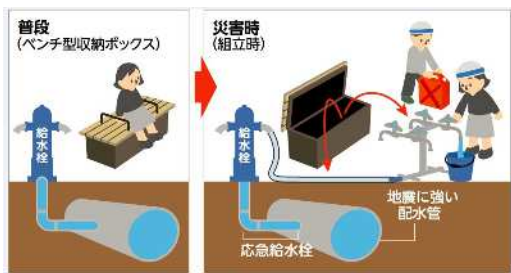
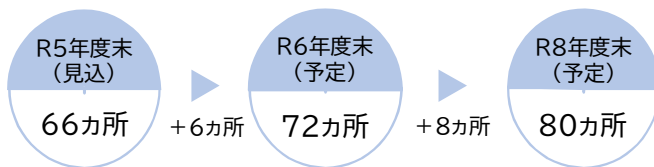
R8末(予定)

80か所

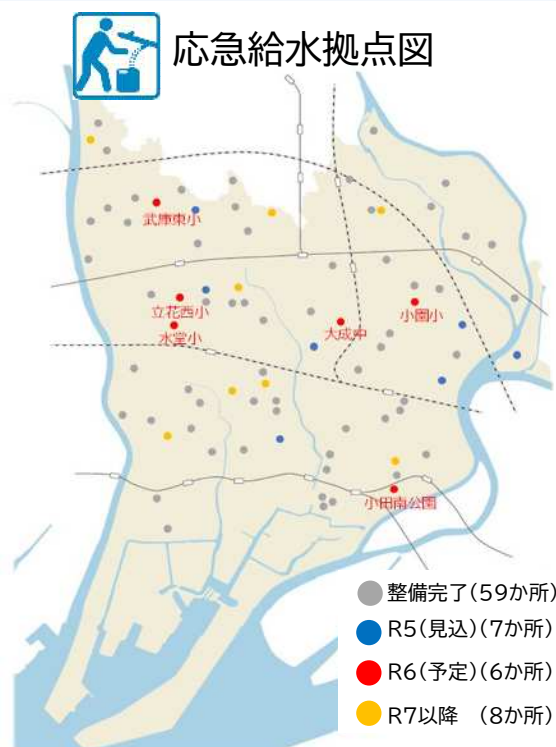
進捗率  
(R6末見込)

90%

### 今後の取組



- 整備が完了した避難所となる小中学校等において、地域住民の方々と設営訓練を年20回程度実施。





6

経営の効率化

水 7百万円

工 2百万円

下 6百万円

将来へ  
事業をつなげる

## 目的

お客さまサービスや業務効率化の向上に向けたICTの利活用を推進するなど、さらなる経営の効率化を図る。

## 主な事業

## ICTの利活用推進

水 3百万円

工 2百万円

下 2百万円

## お客さまサービスの向上



## ● 電子申請サービス拡充

既存の窓口対応や電話対応などの手続きについて電子申請を拡充  
 (本市の電子申請サービスのプラットフォームを活用)

## 業務の効率化



## ● 業務用生成AIサービス導入

個々の制度やルール等に関する情報をAIに取り込み、検索により最適な回答を導き出す  
 (当初は庶務・契約・条例等データを想定)



## ● 各種データの可視化分析

BIツールを導入し、各種データを取り込み、分析、可視化などを総合的に推進

## 期限内納付への優遇措置

水 2百万円

下 2百万円

## 優遇措置を通じ、収納率の定着・向上



一定期間の水道料金・下水道使用料を期限内納付



見本

検針票に  
尼崎城無料入場券を印刷



## 広報紙の発行・配布頻度の見直し

水 2百万円

下 2百万円



水道・下水道事業の広報紙「ウォーターニュース」の配布回数の変更  
 (4回→2回/年)

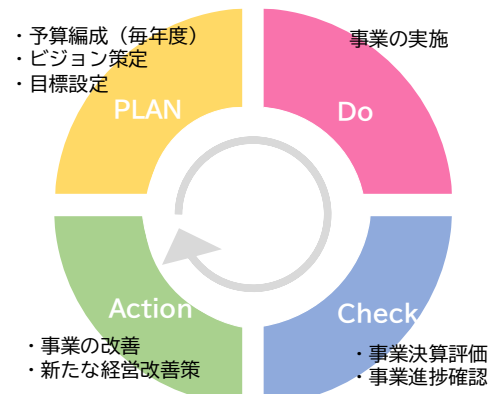
削減額▲約478万円

## 今後の取組

## 上下水道事業のDX推進



## 経営の効率化を図るPDCAサイクル



# 下水道事業会計

## 方針

100年後の将来像を見据え、40年間の財政収支を見通し、令和4年度から10年間の計画として策定した「あまがさき下水道ビジョン2031」に基づき、事業運営に取り組む  
(前期計画:R4~R8 後期計画:R9~R13)

## 事業規模

下水 209億円

## 主な評価指標

	R3決算	R4決算	類似団体平均 (R3決算)	直近の推移 ※管路の耐震化率はR2より
<b>経常収支比率 (経営の健全性)</b> ▶ 収益で費用をどの程度賄えているかを表す指標 ▶ 経常収益/経常費用 ▶ 100%以上が良好	112.7%	110.1% (△2.6%)	108.0%	
<b>有形固定資産減価償却率 (老朽化の状況)</b> ▶ 有形固定資産の老朽化度を測定する指標 ▶ 有形減価償却累計額/償却対象資産の帳簿原価 ▶ インフラの老朽化が社会課題となる中、計画的かつ効果的な施設整備・維持管理を講じる「ストックマネジメント」の取組が重要	57.9%	58.6% (+0.7%)	24.6%	
<b>特に重要な幹線管路の耐震化率</b> ▶ 特に重要な幹線管路とは、防災拠点、災害対応病院、避難所などの重要施設から排水を受ける管路(約85km) ▶ 耐震性を有している管路延長/特に重要な管路延長 ▶ 100%であることが望ましい	40.4%	49.7% (+9.3%)	—	

## 主要事業



### まちのくらしを支える

1

下水道管や設備の改築更新



ストックマネジメント手法を用いた老朽化した管路や設備を更新

3,215百万円



### 災害から守り備える

2

施設能力の強化



雨水ポンプ能力を増強し、浸水被害に対応

913百万円

3

マンホールトイレの整備



避難所となる小中高校にマンホールトイレを整備し、災害時のトイレを確保

123百万円



### 将来へ事業をつなげる

4

PPP/PFI手法の活用



東部雨水ポンプ場の建替えやウォーターPPPなど新たな民間活力の導入

56百万円



# 1

## 下水道管や設備の改築更新

3,215百万円

### 目的

ストックマネジメント手法により、優先順位をつけて老朽化した施設の更新や修繕を行い、効率的な施設の更新とそれらに係る費用の平準化を図る。

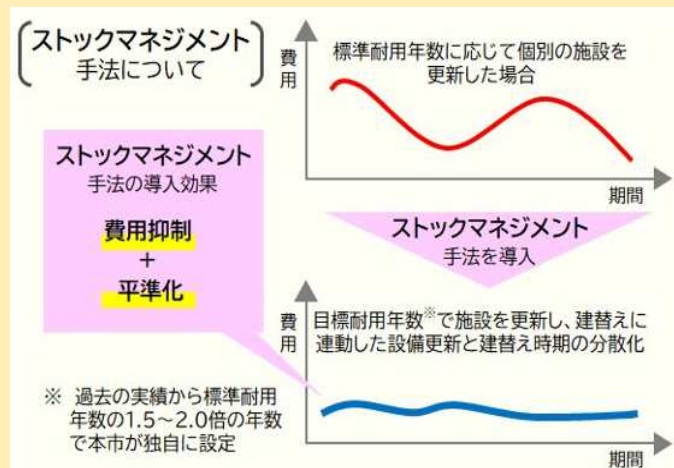
### 主な事業

管路の更新や老朽管調査など 1,819百万円

- 管路の更新を目的とした更生工事 2.0km
- 管路(φ450mm以上)の老朽管調査 17.5km

機械・電気等の設備更新工事 1,396百万円

- 北部浄化センター他4機場 13設備(箇所)



### ビジョン進捗・目標

#### 管路の改築更新

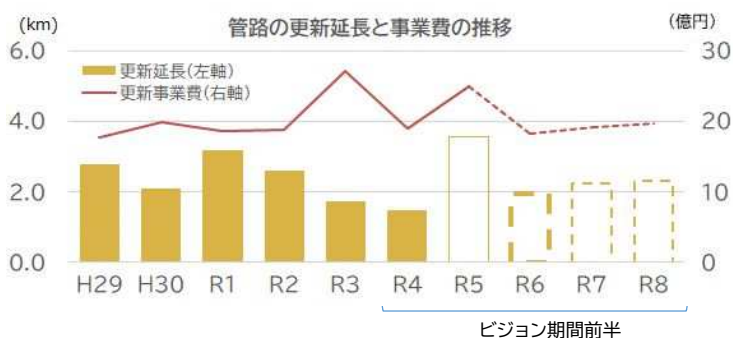
- 管路の更新スケジュール  
令和4年度から令和13年度末までに約30kmの更新を予定。  
ビジョン前半期間(令和8年度まで)はφ800mm以上の管路11kmの更新を予定。

令和6年度末予定

○約5.9kmを更新

令和13年度末(目標)

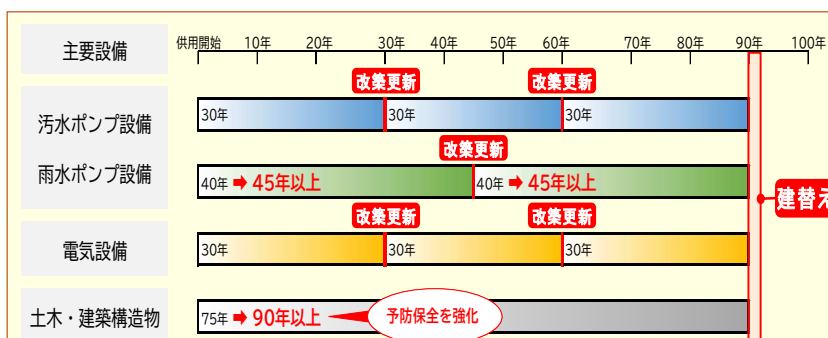
○約30kmの更新



#### 設備(機械・電気等)の改築更新

- 機械・電気等の設備の更新スケジュール  
設備更新は、定期的な点検と修繕による予防保全を強化し、設備の延命化を図るとともに、建替えを見据えた効率的な更新を実施。

※右の図は、建替えを見据えた目標耐用年数(標準耐用年数の概ね1.5~2.0倍)で機械・電気等の設備を更新する場合の更新サイクル。



目的

気候変動により強くなる雨の降り方や、都市化で浸透しにくくなる地面への対応を考慮した下水道施設の能力強化として、ポンプの雨水排水能力の増強工事を実施する。

主な事業

雨水ポンプ2基の更新(能力増強)  
913百万円

- 大庄中継ポンプ場
  - 栗山中継ポンプ場
- 雨水ポンプの能力強化として、雨水排水能力の増強工事を実施。  
雨水ポンプの改築工事の工期は、1基あたり2年間。



ビジョン進捗・目標

令和6年度末予定

○ポンプ能力増強 累計6基  
(合計19基/49基)



令和13年度末予定

○ポンプ能力増強 累計14基  
(合計27基/全49基)

今後の取組

※令和3年度までに13基実施済

実施年度	実施数
令和4年度	1基 (⑧分区)
令和5年度	3基 (⑦、⑧分区)
令和6年度	2基 (⑦、⑧分区)
令和7年度	1基 (⑧分区)
令和8~13年度	7基 (⑦、①分区)
合計	14基 (27基/49基)



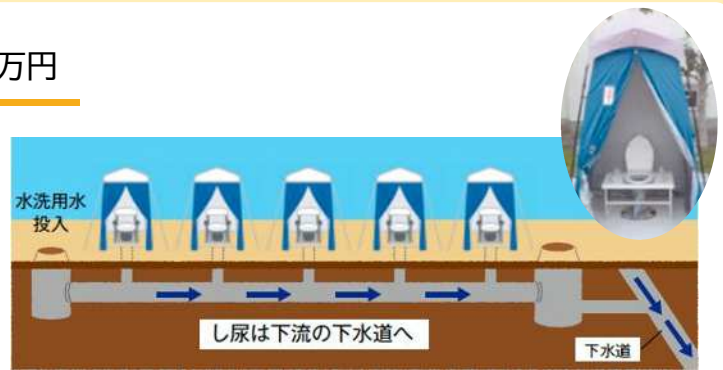
目的

災害時のトイレ機能確保の一つとして、避難所となる小・中・高校を対象とした全68校へマンホールトイレの設置を進め、被災時に地域住民の皆様がマンホールトイレの設置が行えるよう、自主防災組織などと連携して設置手順や使用ルールの周知に取り組む。

主な事業

マンホールトイレ7カ所の整備 123百万円

- 設置予定校
  - ・杭瀬小学校
  - ・浦風小学校
  - ・尼崎北小学校
  - ・水堂小学校
  - ・七松小学校
  - ・園田北小学校
- その他
  - ・小田南公園



ビジョン進捗・目標

令和6年度末予定

- 6校に整備 (36校/68校)

令和13年度末予定

- 小中高校の避難所68校への設置

今後の取組

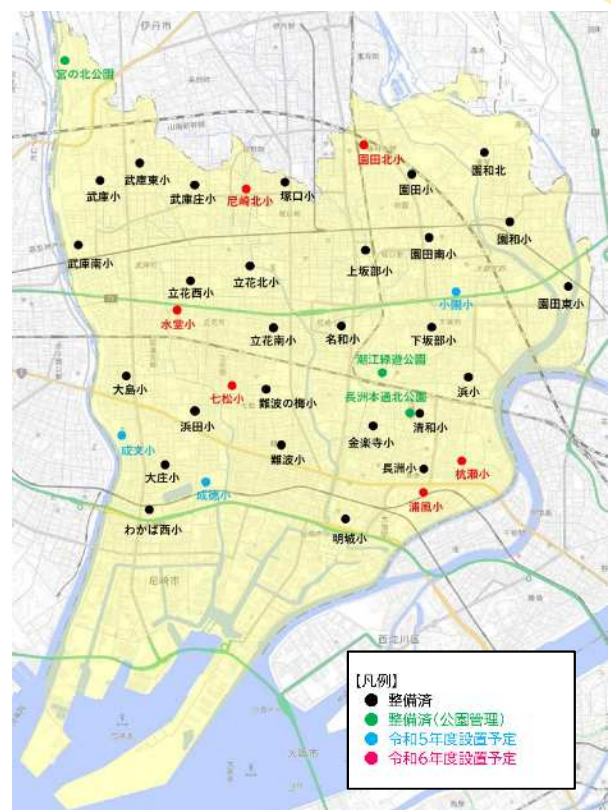
- 毎年6校ずつ整備を予定
- 設置訓練

地域住民が主体となって設置できるよう、設置が完了した避難所において防災訓練や市政出前講座を実施し、継続的に周知を行う。

また、避難所に応急給水拠点がある場合は、合同で訓練を実施する。



立花南小学校での訓練の様子



【凡例】  
● 整備済  
● 整備済(公園管理)  
● 令和5年度設置予定  
● 令和6年度設置予定

目的

今後も安定した経営で下水道事業を維持していくため、さらなる民間活力の導入が不可欠であることから、施設や管路の更新に対して、新たな官民連携(PPP/PFI手法)の導入を検討する。

主な事業

ウォーターPPPの導入(国費の交付要件)

- ウォーターPPP導入調査
- 市内業者との意見交換

ウォーターPPP (管理・更新一体マネジメント方式)	
長期契約(原則10年間)	
性能発注	
維持管理	
修繕	
更新	

※ウォーターPPPとは、長期契約(原則10年)や性能発注、維持管理と更新を一体的にマネジメントする方式で民間活力を活用する手法

東部雨水ポンプ場の建替え

- 事業者2次ヒアリングの実施(PPP/PFI手法の参画意向調査等)
- 概算事業費の算定及び事業方式の決定



【東部雨水ポンプ場敷地】

今後の取組

ウォーターPPPの導入

令和9年度以降、ウォーターPPPの導入を決定済みであることが汚水管(合流管を含む)改築の国費の交付要件になったことを踏まえ、令和5年度から導入検討を進めており、令和8年度中の公募(募集要項等の公表)を目指す。



東部雨水ポンプ場の建替え

施設の建替え時期が集中しないように計画を策定

東部雨水ポンプ場(S37年供用開始)は施設の中で最も古く、建替え用地も確保できていることから、「あまがさき下水道ビジョン2031」の期間での建替えを目指す。

建替え用地	施設名称/年度	~2031	~2041	~2051	~2061	~2071	~2081	~2091	~2101	~2111
○	東部雨水ポンプ場	ポンプ棟他								
○	西川中継ポンプ場	ポンプ棟他								
×	大庄中継ポンプ場		雨水棟			管理棟				
×	尾浜中継ポンプ場		雨水棟				管理棟			
×	中在家中継ポンプ場			雨水棟			管理棟			
○	北部浄化センター				ポンプ棟他		2系/3系/1系水処理棟・管理棟			
○	東部浄化センター					ポンプ棟・ブロウ棟他			1系/2系水処理棟	
×	栗山中継ポンプ場					ポンプ棟				
×	富松中継ポンプ場						ポンプ棟			
×	東灘波雨水ポンプ場							機械室棟		
○	高田中継ポンプ場								ポンプ棟	

(このページは白紙です。)

# モーターボート競走事業会計

## 方針

新たに策定した「第2次尼崎市ボートレース事業経営計画」(令和6~10年度)に基づき、ボートレースを通じ、尼崎のまちの魅力づくりに貢献していくための取組みを推進

## 事業規模

ボート

715億円

## 主な評価指標

	R3決算	R4決算	直近の推移
<b>売上 (経営目標)</b> ▶ 令和6年度~10年度までの5か年の売上総額2,600億円以上を経営目標として設定 ▶ ボートレース尼崎が主催するレースの売上総額	539億円	636億円	
<b>一般会計繰出金 (経営目標)</b> ▶ 令和6年度~10年度までの5か年の一般会計繰出金の総額150億円以上を経営目標として設定 ▶ 費用化分と利益処分による繰出金の合計	33.8億円	41.0億円	
<b>本場年間来場者数 (活動指標)</b> ▶ 年間来場者数30万人以上を目標として設定 ▶ レース開催日の来場者数と非開催日の来場者数を合計	28.7万人	31.7万人	

## 主要事業



### ボートレースを通じ尼崎のまちの魅力づくりに貢献する

1

電話投票を中心とした売上向上



売上向上のため、魅力あるレースの提供やアマチャン会員の新規獲得

603百万円

2

ファミリー層も楽しめる本場利用促進



レース以外に親子で楽しめるイベント等の場内コンテンツの充実や地域への貢献

236百万円

3

競技環境の改善・お客様目線に立ったハード整備



安全・安定的なレース環境の整備やお客様の利便性の向上

1,943百万円



1

## 電話投票を中心とした売上向上

603百万円



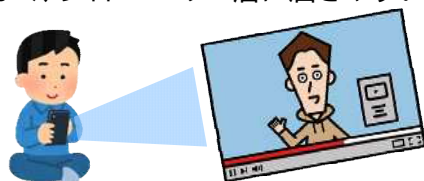
## 目的

電話投票を中心に、新たなファンの獲得やコアファン向けの施策展開等により売上のさらなる向上を目指す。

## 主な事業

## YouTubeライブ予想配信事業 209百万円

コアファン層だけでなく、ライトユーザー層に届けやすい番組を配信



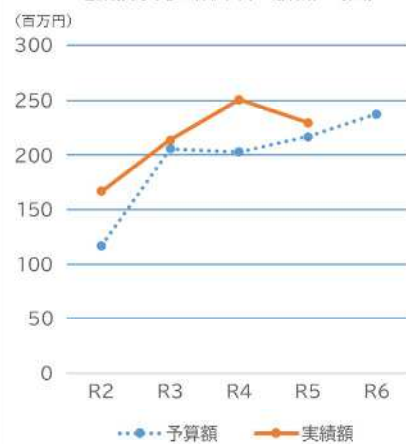
## ボートレース尼崎電話投票会員CLUBアマチャン運営等事業

105百万円

キャッシュバックキャンペーン、会員招待ツアーの開催、データ分析等



電話投票売上額/日(一般戦)の推移



※R5実績額はR5.11末時点の決算見込額

## SGグランドチャンピオン開催運営事業 289百万円

本場イベント、YouTubeライブ予想配信、場外キャンペーン  
前夜祭等

(開催日程)令和6年6月25日(火)～6月30日(日)



**GRAND CHAMPIONSHIP** グランドチャンピオン

## 目標

- 電話投票売上額/日(一般戦)

令和4年度実績

2.5億円

毎年度実績(目標)

2.5億円以上

- YouTubeチャンネル登録者数

令和4年度末時点

26,151人

令和6年度末時点(目標)

39,800人

- アマチャン会員数

令和4年度末時点

54,213人

令和6年度末時点(目標)

77,000人



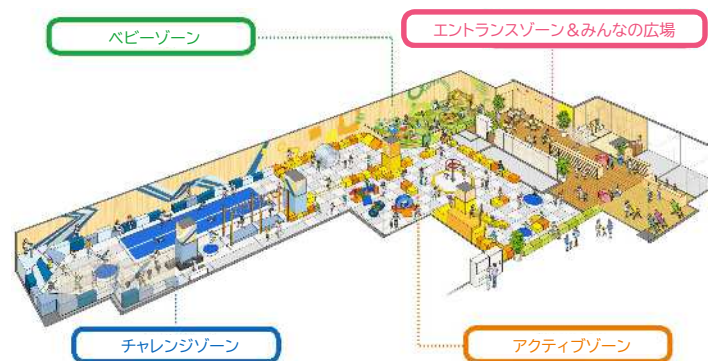
## 目的

レース以外に親子で楽しめる場所や地域の方が活用できる場所としての位置づけを強化し、来場者の増加を目指す。

## 主な事業

### モーヴィあまがさき運営事業 90百万円

令和4年4月にオープンした親子のあそび場。発達段階に応じて多種多様な遊具・玩具を配置。予約で満員となっている土日祝のクール数を増やす取り組みや、多方面に出張モーヴィを展開し、さらなる認知度のアップに取り組む。



### ファミリー層集客事業 146百万円

プールや雪といった季節イベントや、阪神電車とのコラボイベント等ファミリーが楽しめる様々なイベントを実施する。



## 目標

- 年間来場者数(非開催日含む)

令和4年度実績

317,290人

毎年度実績(目標)

340,000人以上

- 小学生以下の年間来場者数(非開催日含む)

令和4年度実績

21,071人

毎年度実績(目標)

45,000人以上

- 地域行事等での年間利用回数

令和4年度実績

3回

令和6年度実績(目標)

5回

3

競技環境の改善・お客様目線に立ったハード整備 1,943百万円



## 目的

競技エリアの改修等に取り組み、安全・安定的にレースを運営するとともに、お客様目線に立ったハード整備を行い、より一層お客様に満足していただける施設を目指す。

## 主な事業

競技エリア施設整備事業 1,434百万円

- 総事業費:4,147百万円
- 事業期間:令和5～8年度
- R6工事内容:検査棟・ボート揚降設備整備、ファン通路エレベーター設置



競技エリア

メインスタンド屋外観覧席等改修工事

509百万円

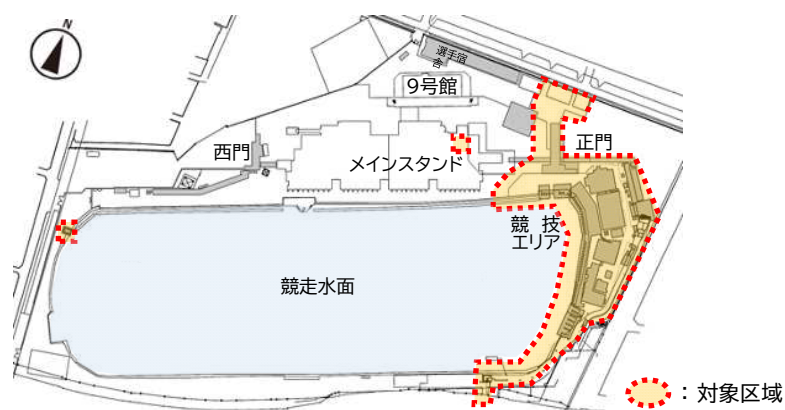
老朽化が進むメインスタンド屋外観覧席の更新及び床面防水改修等を実施する。



メインスタンド屋外観覧席

## 今後の取組

## 競技エリア施設整備事業 スケジュール



R5

R6

R7

R8

○ファン通路

○検査棟・ボート揚降設備  
○ファン通路エレベーター

○艇庫・選手棟・練習参加選手用施設等  
○競技本部  
○ボート置場・ピット

○外構